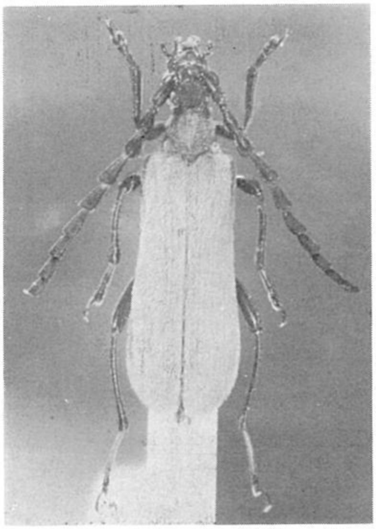
沖縄本島でアマミアカハネハナカミキリを採集

豊嶋　亮司

アマミアカハネハナカキキリ *Formosopyrrhona satoi* (HAYASHI) は，従来奄美大島および徳之島に分布することが知られていたが，筆者は沖縄本島で本種を採集したので，ここに報告しておく。



1♀，沖縄本島国頭郡奥1号林道，2. iv. 1978

奥1号林道最奥部に新しく切り開らかれた斜面の伐採地で飛翔中のヒメクロトラをすくっていたところ，上縁の林中を縫うように飛翔していた個体を採集した。天候は快晴であった。

末筆ながら，発表を勧められた藤田宏氏ならびに写真撮影に御協力いただいた湯沢宣久氏に感謝申しあげる。

(〒462 名古屋市北区下飯田町 4-11)

トワダムモンメダカカミキリの北限記録

今坂　正一

トワダムモンメダカカミキリ *Stenhomalus lighti* GRESSITT の北限記録として，利尻島における採集例を報告しておく。従来の北限は札幌市周辺。

1 ex.，利尻岳，28. vi. 1975，今坂正一採集

花上にて採集したものである.

1975年6月26～28日における採集で本種の他に，ホクチチビハナ (1 ex.，鴛泊，26. vi)，チビハナ (2 exs.，利尻岳，28. vi)，シナノクロフ (1 ex.，鴛泊，26. vi；3 exs.，姫沼，27. vi；1ex.，利尻岳，28. vi)，アカガネ(1 ex.，利尻岳，28. vi)，ヒゲナガモモブト (1♂，利尻岳，28. vi)，ハンノアオ (1 ex.，利尻岳，28. vi) などのカミキリを採集しているが，チビハナ・シナノクロフ・ヒゲナガモモブト・ハンノアオの4種は利尻島初記録種と思われる。

(〒855 島原市白土町 1064)

沖縄本島における カミキリ3種の生態について

小笠原　隆

1.　ツマグロアメイロカミキリ

Pseudiphra apicale (SCHWARZER)

1 ex.，国頭村奥，17. V. 1976；13 exs.，国頭村辺土名，20, 22. V. 1976；7 exs.，国頭村辺土名，22, 24. V. 1977

本種はこれまで花上にて稀に採集される以外，特に採集方法が知られていなかったが，筆者はアカメガシワの生葉に飛来するという生態を発見して，上記のように採集することができた。

本種が集まる木には，1) 林縁にあって直射日光が長時間当たらないこと，2) 背たけ1m程度の小木であること，3) 周辺のアカメガシワの花が散っているのに，その木だけは少し散り残っていること，など特定の条件があるようで，本種の来集を認めた木は，たくさんあるアカメガシワの中で僅かに3本であった。1976年に渡島した際には，辺土名の裏山にて2本の本種の集まるアカメガシワを見つけたが，翌年にはその2本はいずれも上記の条件を満たすことのできない状態となっており，1頭も見つけることができなかった。そこで，付近を丹念に探した結果,条件に合う1本のアカメガシワを見つけ，前年同様に本種の飛来を認めることができた。

1977年の例では，まず葉の表に飛来し，次に葉裏にまわって先端部まで進み，そこで静止していたが，1976年



ツマグロアメイロの多かったアカメガシワ (右側の低い木)
(沖縄本島辺土名)

の例では，一部の本種は同じ木の花にも来ており，花上で交尾中のものもあった。しかし，この時でも多くは葉裏に静止しており，それも必ず1枚の葉に1頭だけしか見られなかった。

2. オキナワゴマフカミキリ

Mesosa pictipes GRESSITT

11♂♂3♀♀，知念村知念，21，27. V. 1977

これまではきわめて稀な種であったが，1977年にクロヨナの枯木に集まることが判り多数採集された。主に樹幹や直径5 cm以上の太い枝の下面に静止しており，この点は石垣島の亜種 *yayeyamai* と同様である。Type-locality は名護であるが，その後得られている個体はほとんど知念村付近のものである。

3. ニジモンサビカミキリ

Pterolophia lateralis formosana SCHWARZER

2♀♀，国頭村奥，17〜18. V. 1976；1♂2♀♀，那覇市末吉，21. V. 1977；20♂♂17♀♀，国頭村辺野喜，25〜26 V. 1977

この種もきわめて稀な種であったが，テリハノブドウの枯づるに集まることが判って多数が得られた。幼虫の食入部分が短かいため（10cm程度），1本の枯づるにかなりの密度で入っているようである。1977年は本種の大発生の年であったらしく，辺野喜を中心として知念，久手堅，末吉で相当の個体数が得られている。

（〒164 中野区東中野 5-9-7　脇屋亘方）

手賀沼でクビアカドウガネハナカミキリを採集

荒井　憲

クビアカドウガネハナカミキリ *Gaurotes* (*Carilia*) *atripennis* MATSUSHITA は西日本では平地〜低山における採集例がよく知られているが，関東地方の平地〜低山ではまだ数えるほどの記録しかない。筆者は千葉県の手賀沼で本種を採集しているので報告しておく。千葉県下としては柏市における記録*)に次ぐものであろう。

3 exs.，千葉県東葛飾郡沼南町，22. V. 1977

1週間後にも1頭を採集しているが，すべて赤紫色の *aureopurpurea* 型個体であった。

採集地は手賀沼の近くの平地で，畑の周りにあるクロマツ林と雑木林の境といった地点の，ガマズミ・ノイバラ花上で採集した。他のカミキリとしては，ミドリ・ツヤケシハナ・エグリトラが見られ，同年の6月12日にはクリの花上でアオカミキリも1頭得ている。

なお，標本は北川和広氏が保管している。

*）昆野安彦(1971)：月刊むし，7号，pp. 35〜36

（〒270-11 我孫子市緑 1-6-41）

静岡県下における クロツヤヒゲナガコバネカミキリの記録

坪井　俊久

クロツヤヒゲナガコバネカミキリ *Molorchus* (*Linomius*) *hattorii* OHBAYASHI は，佐渡ヶ島，福島県下（福島市外・檜枝岐他），神奈川県登戸，長野県下（大町市・戸台・高遠公園他），岐阜県付知，京都府貴船山など本州各地で得られているが稀な種で，形態的にも後腿節の先端が約2/3にわたってふくらんでいる点など他の邦産 *Linomius* 亜属の *Molorchus* とはかなり異っている。



本種は静岡県下では現在までのところ，まったく記録がないようだが，筆者は天竜市内で1頭を得ているので，県下初記録として報告しておく。

1♀，静岡県天竜市二俣町，27. iv. 1978

午前9時頃，天竜川河原のヤナギに巻きついていた枯づるのビーティングより得た。

標本は左触角がすこし折れているが(写真1)，これは後になって筆者の不注意で折ってしまったもので，採集時には完全品であった。

また，次の2種も静岡県下における採集例はごくわずかなものと思われるので，併わせて記録しておきたい。

